

特集

2011年度を振り返って／卒業生に聞く／

研究室から①

常に理学療法分野をリード

林 典雄 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授

研究室から②

「気になる子ども」に着目

西垣 吉之 子ども学部 子ども学科 教授

3月22日(木)

卒業式挙行(岐阜市、長良川国際会議場)





特集

2011年度 EVENT CALENDAR



表紙／満開の桜とカリヨン(関キャンパス)

中部学院大学報
2012
vol. 27

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS

〈発行：大学報編集委員会〉

特集 03 2011年度を振り返って ～卒業生に聞く～

- 06 恩師からのメッセージ
- 08 部・クラブ・サークル紹介
〈ピックアップ〉女子バスケットボール部 インカレ ベスト16ー
学長賞、同窓会長賞など受賞者一覧
- 10 文科省学生支援推進プログラム
進路決定率100%・進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立
- 11 文科省大学教育推進プログラム
『“あそびすと”から“あそびスター”へ』
五感で感じるあそびの価値を広げる保育者養成講座
- 12 研究室から①
常に理学療法分野をリード
林 典雄 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授
- 13 研究室から②
「気になる子ども」に着目
西垣 吉之 子ども学部 子ども学科 教授
- 14 トピックス
プロムナードコンサート開催(子ども学部、短期大学部 幼児教育学科)ほか
- 15 講演会
リハビリテーション学部市民公開講座開催ほか

①たのしみ祭では、岐阜各務野、本巣松陽、山県、済美の各高校の生徒らと本学吹奏楽部の学生がコラボレーションして演奏を披露 ②③④さまざまなバンドやパフォーマンスが繰り広げられたたのしみ祭と大学祭 ⑤学生がさまざまな遊びを企画した学びの森フェスティバル ⑥⑦プロムナードコンサートで、パフォーマンスや合唱ミュージカルを披露した学生 ⑧オリエンテーションで先輩から話を聞く新入生 ⑨関キャンパスに施されたクリスマスイルミネーション ⑩介護の日の啓発活動で合唱を披露する学生ら

保

育士である母親が様々な学習会に参加し、話を聞いている中で、障がい児教育に力を入れている子ども学部を知りました。カリキュラムも保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格が取れ、じっくり4年間かけて進路を考えることができる環境で、将来の選択肢が広がることも魅力でした。学生生活は「かがく・さんすうアカデミー」や「学びの森フェスティバル」をはじめ、各務原キャンパス内にラ・ルーラ(子ども家庭支援センター)があり、自然に地域の人や子どもたちと関わることでできました。実習では幼児から小学校高学年まで幅広い子どもと関わり、自分の適性を考えることができました。就職は岐阜県の小学校教諭と県職員に合格しましたが、保護者や地域、行政までを支援できる県の行政福祉職を選びました。大学では頑張った分だけ身に付けることができます。後輩の皆さんは友人、先輩、先生と情報交換したり一緒に考えたりしながら、目標に向かって頑張ってください。

自分の適性を考えられた4年間



子ども学部 子ども学科
進藤 明日香さん(しんどう・あすか)
岐阜県職員(行政福祉)

幼

児教育学科に進学した大きなきっかけは、重度の身体障がいのある兄の存在でした。5人きょうだいの末っ子で、少し歳の離れた一番上の兄は小さいころから体を自由に動かすことができず、父母の介助が必要でした。私は唯一の妹として時には両親を手伝ってきました。高校卒業を控えて将来の仕事を考えた時に、「身近な「兄」の存在が浮かびました。「自分の経験が生かせる仕事に就きたい」と思うようになり、特に幼少期が大切であると感じて、障がい児保育に力を入れている中部学院大学短期大学部に進学することを決めました。実習などを通じて、見守ることからその子の特性を把握し、コミュニケーションを図ることの大切さを学びました。卒業後は岐阜県職員(保育士)として、新たな一歩を踏み出すことになります。子どもの成長の芽を摘むのではなく、保護者とともに子どもの可能性を引き出せるような保育者として、生きがいをもちながらサポートしていきたいです。

実習から実学を得た2年間



短期大学部 幼児教育学科
中村 美月さん(なかむら・みつき)
岐阜県職員(保育士)

特集 2011年度を振り返って



人間福祉学部 人間福祉学科
小又 友樹さん(こまた・ともき)
岐阜県立高校常勤講師(福祉)

野球と教職の勉学を両立

高校まで野球一筋だった私にとって、しっかりと結果を残せず不完全燃焼のままで終われないという思いと、高校教諭として教壇に立ちたいという希望から、部活動と勉学が両立できる人間福祉学部への進学を決めました。教職科目の授業は5限が多く、厳しい状況でしたが、部員の理解と協力もあり、充実した時間を過ごしました。3年になると、監督から学生コーチになることを勧められました。最初は選手を続けたいという思いから葛藤もありましたが、指導者として現場に立ちたい気持ちも強かったため、良い経験を積むことができました。4月から岐阜県立高校の講師として福祉を担当します。硬式野球部では「気づく」という人間性を学び、コミュニケーションの大切さ、相手を思いやる気持ちを培うことができました。福祉にも共通しています。生徒とコミュニケーションを図りながら、一方通行にならない授業を心掛け、福祉を身近に感じてもらえるように努めたいです。



リハビリテーション学部 理学療法学科
大塚 瑞貴さん(おおつか・みずき)
医療機関(理学療法士)

仲間とともに充実した日々

長野県で強豪と呼ばれた高校でバスケットボール部に所属していましたが、2年の時、足首のじん帯を損傷し、リハビリを余儀なくされました。メンバーの入れ替わりが激しい中で、落ち込んだり焦ったりしましたが、励まし続けてくれた理学療法士の方に感激したのが大きな転機でした。大学では理学療法士を目指す仲間恵まれ、期待が膨らみました。4年になると7週間の実習が2回ありますが、患者さんと触れ合う中で、「良くなったよ」と喜ばれる表情を見て、早く仕事に就きたいと思うようになりました。また、骨関節系の構造など、他大学の学生が学んでいない専門的な知識も大学の講義で身に付けていることを感じ、自信を持ちました。国家試験に向けてもグループで取り組み、一緒に考えたり、教え合ったり、いい緊張感を持って勉強できました。就職は各務原市にできたりハビリテーション病院に勤務する予定ですが、学ぶ姿勢を忘れず患者さんに接していきたいです。

EVENT CALENDAR



学びの森フェスティバル(11月)



ホームカミングデー(10月)



中部手話スピーチコンテスト(11月)



まちづくり研究旅行(11月)

- 9月
 - オープンキャンパス
 - 後期授業開始日
- 10月
 - たのしみん祭・大学祭
 - ホームカミングデー
 - 市民公開講座(理学療法学科)
 - オープンキャンパス
- 11月
 - 学びの森フェスティバル
 - 中部手話スピーチコンテスト
 - フロムナードコンサート(子ども学科、幼児教育学科)
 - まちづくり研究旅行(経営学科)
- 12月
 - クリスマス礼拝・祝会
- 1月
 - 大学入試センター試験
 - 後期定期試験
- 2月
 - 春期休暇(3月末まで)
 - 後期定期試験
 - 中部学院大学コンサート
 - デンマーク研修
- 3月
 - 卒業礼拝
 - 卒業式



クリスマス会(各務原・12月)



クリスマス祝会(関・12月)



クリスマス礼拝(12月)



たのしみん祭(10月)

常に挑戦の姿勢を持ち続けてください

人間福祉学部長 寺嶋 正己



ご卒業おめでとうございます。達成感と希望に満ちた皆さんの満面の笑顔に接し強い感動を覚えました。そして皆さんと共に慶びのときを持てたことに感謝し、新たな目標を持って、明日の日本を背負う皆さんに心からの声援を送ります。

終生に涉り社会貢献に向けての能力開発と意欲の維持は、万人に共通な命題です。人間福祉をベースに、我国が抱える課題に果敢に挑戦する、明日の専門家を目指してください。私達も皆さんの挑戦を支援できるよう研鑽に努めます。

これからが本番です。よい仕事をしてください。

リハビリテーション学部長 三上 章允



ご卒業おめでとうございます。理学療法士を目指してきた諸君にとって最後の関門であった国家試験を終了し、ほっとしていることと思います。しかし、国家試験は1つの通過点に過ぎません。これからが本番です。患者さんは一人一人違った病歴を持っていて、教科書通りの症例はむしろ少ないと思わなくてはなりません。その意味で日々が新しいことへの挑戦です。後に続く後輩たちのためにも、よい仕事をしてもらえものと期待しています。

やはり、社会でも誠実さが第一！

幼児教育学科長 白幡 久美子



ご卒業おめでとうございます。2年前の皆さんは、保育者をめざす期待と新しい環境に対する不安の入り交じった気持ちで入学されたことでしょう。この幼児教育学科に在籍して、多くの友人と出会い、同じゴールを目指す仲間と互いに刺激しあいつつ学ぶことで、確かな知識と技能を身につけました。また、2年間で数多くの実習をこなし、コミュニケーション能力もつきました。

いま、保育界へ飛び立つ準備は完了です。多くの先輩保育者の仲間入りをし、現場での経験を積み、理想の保育者像に地道に向かっていきましょう。

志を高く持ち、自信と誇りを持って社会へ

専攻科長 壬生 尚美



専攻科23期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、ここに専攻科の新たな1頁が刻まれました。この1年は、自分への挑戦の場であり、学びの場だったのではないのでしょうか。介護の理論と実践の学びの中で、その本質を追究し、クラスの仲間と切磋琢磨しながら成長していくその姿は、大変頼もしく感じました。この1年は、皆さんにとって宝物ですね。常に志を高く持ち、自信と誇りを持って社会でご活躍されることを期待しています。

不断の努力を続けてください

大学院研究科長 堅田 明義



ご卒業おめでとうございます。大学時代の経験が皆様の中に末永く鎮座する器の原型になることでしょう。これから外的な形式的な区切りとしての不連続性は次々と出てまいります。個人としての連続性は今後も区切られることはありませんので、どのような些細な経験も自分の器に蓄積され続けます。しかし蓄積される内容に未来性と展開性を秘めさせるには主体的努力の継続が求められ、このことは蓄積される器も磨くことになります。

夢 羽ばたくとき

子ども学部長 林 陽子



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。いよいよ未来に向かって羽ばたくときがきました。実習、卒業論文、行事、学友会、サークルなど、先生方や子どもたち、そして仲間励まされたり励ましたりの学生生活で手にした夢を叶えようとしている姿は、とても頼もしく見えます。どうぞ、一瞬一瞬を大切に、自分らしい人生にしてください。私たちはいつも応援しています。学びの森はずっとあなたの森であることを忘れないでください。

旅立ちの日に

経営学部長 西田 安慶



いよいよ旅立ちの日が来ました。みなさんは経営学部開設の2008年4月に入学し4年間、各務原と関で学び、いま思い出を胸に旅立つ日が来ました。開設時、私たち教員も特色ある教育を目指して意欲に燃えて着任しました。みなさんはそんな私たちとともに学習や研究を熱心に行っていました。彦根市・長浜市へのまちづくり研究旅行、インターンシップなど現場を体験する活動にも取り組んできました。旅立ちの日に当たり、学生生活で得たものを生かして「学び続けよう」と呼びかけ、私のはなむけの言葉としたい。

「ご縁」を大切に

社会福祉学科長 飯尾 良英



ご卒業おめでとうございます。昨年は、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ、普通に暮らすことの幸せ、家族や社会のありがたさを思いやること、助け合うことの大切さを学んだことと思います。このことを忘れないで、生かされていることへの感謝と様々なものとのご縁を大切にしましょう。「縁」とはふとした巡り合わせです。縁を受け入れ、縁と共に歩む勇氣を持ってください。皆さんの人生が広がると思います。人生に幸多からんことを祈っています。

恩師からのメッセージ

将来に期待する

大学学長 岡本 健



「ご卒業おめでとう」と心からお祝い申し上げます。わが国の将来について、必ずしも明るいとはいえない現状ですが、これからの日本の将来は卒業生諸君の努力に負うところが大きいことは明らかであります。これまで、中部学院で受けた教育の成果が今後問われるわけであります。少子高齢化のもたらすわが国の将来に対して、福祉関連の問題は避けて通ることは出来ないことと思います。これからどのような専門分野で活躍するにしてもこれまで受けた教育の内容は重要です。多くの卒業生が現在社会に出て十分活躍していることが広く知られるようになって来ました。うれしく思っています。昨年3月に大災害を経験し、われわれを取り巻く環境に大きな変化が急激に起こることを知ることとなりました。同様に今後どのような社会的変化に対しても対応していく知恵、努力が普段から必要であることを知っていなければならないと思います。諸君の今後の活躍に大いに期待するところであります。

希望の中に生きる

短期大学部学長 片桐 多恵子



卒業は人生の大きな節目であり門出の時です。おめでとうございます。何が起ころうとも生涯「希望」を失うことなく歩み続けてください。昨年3月に起きた東日本大震災・津波被害・原発事故は思いがけないことでした。「想定外」と言う言葉も聞かれましたが、そこには、想定できると過信してしまった人間の傲慢さが潜んでいないのでしょうか。「まさか」のことが起こったときに、どのように立ち向かえばよいのでしょうか。本学の建学の精神「神を畏れることは、知識の始めである」が示唆しているように、自分に謙虚になって、あらゆるものに新たな視線を向けてみましょう。昨年以来、日本人の価値観に変化が見られます。或る調査によれば、エコなど環境・エネルギー・無駄への意識の高まり、社会貢献の増加、「絆」の深まりなどが挙げられています。これからも「つながれつつゴー」を合言葉に、光の中を歩んでください。

卒業生の活躍は在校生の励み

大学副学長 小川 克正



卒業生の大多数にとって、今回の卒業は学生生活のターミナルになります。同期の卒業生同士、またサークルの仲間同士、同じ学院で学んだ同窓の誼を大切にしてほしい。生涯にわたり友誼を保ち続けることを心掛けていただきたい。大学は、在校生と教職員だけのものではありません。卒業生と在校生と教職員からなる大きな共同体です。卒業生の活躍は、在校生と教職員にとっての誇りであり励みであります。在校生の活躍はまた卒業生の名誉であり誇りでもあります。機会あるごとに後輩たちの活躍に意を用いていただきたい。卒業生の活躍と飛躍を大いに期待しています。

部・クラブ・サークル紹介

陸上競技部など強化指定部を中心に毎年好成績を残していますが、今年度も一層の飛躍が期待されます。



全日本学生選手権大会（インカレ）ベスト16

全国400余のチームの中から、各地区予選を勝ち抜いた32チームが参加して行われた全日本学生選手権大会。初戦、荒井強平監督が選手たちに贈った言葉は、「恐れることは

何もない。受け身にならず相手にぶつかっていい!!」その言葉通り、選手たちは57年連続出場の大豪日本女子体育大学にぶつかっていき、80対72で競り勝つことができました。続く2回戦では、優勝候補筆頭の筑波大学（関東リーグ1位）と第1ピリオド14対16とほぼ互角の戦い、第2ピリオドで相手の大型選手に押し込まれ少し点差が開いてしまいました。が、後半も一進一退の攻防が続き、結果的に52対71で敗れましたが、優勝



候補にも十分戦える実感をつかむことができ、収穫の多い大会となりました。2試合を通して、ここまで勝ち上がったのは、日々応援していただいている教職員の皆様、保護者の皆様のおかげだと感じ、選手・スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。女子バスケットボール部は、2011年度の目標を「全日本学生選手権大会出場」と定め、練習に励んできました。東海地区の代表権は、秋季リーグ戦で4位以上に入賞しないと出場できません。残念ながら、1位の愛知学泉大学・2位の桜花学園大学には勝てませんでした。が、中京大学や愛知大学に圧勝し、3位で全日本学生選手権大会出場となりました。12年度は、さらに高い目標に向かって、チーム全員で戦います。今年も全国の舞台で、次はもう一つ上に上がれるように頑張ることを決意しました。（女子バスケットボール部 コーチ 櫻川 唯）

心強いリハビリテーション学部

厳しい練習のためけがをする選手が度々出ました。リハビリテーション学部の先生方をはじめ学部生には傷害予防や、リハビリなどの応援をいただき、たいへん心強く感じながら練習に打ち込むことができます。この点は他の大学より大いに恵まれており、感謝の気持ちでいっぱいです。

茅谷由希子（人間福祉学部2年）ユニバーシアード代表候補に

全日本学生選手権大会での活躍が認められ、茅谷さんが第1次候補22名の中に選出されました。3月11日から19日まで、味の素トレーニングセンター（東京）での第1次合宿に参加します。この後、数回の合宿を経て、最終的に12名に絞り込まれます。最後まで残るよう応援をお願いします。



■写真左／1回戦・日本女子体育大学×中部学院大学＝同試合でチーム最多26点を挙げて勝利に貢献したフォワードの茅谷由希子選手 ■写真上／ベスト16に躍進した女子バスケットボール部員＝いずれも東京都墨田区総合体育館にて

硬式野球部



岐阜学生リーグで5季連続8度目、東海秋季選手権で3度目の優勝を飾った硬式野球部

ハンドベルクワイア



パイプオルガンとハンドベルの共演が実現したクリスマスコンサート＝昨年12月、岐阜市のふれあい福祉会館サラマンカホールにて

東海地区大学野球「岐阜学生野球2012秋季リーグ」で5季連続8度目の優勝を飾り、東海秋季選手権ではリーグ戦2戦全勝で2年ぶり3度目の優勝を果たしました。

岐阜学生リーグでは、最優秀選手賞、最優秀投手賞、特別賞に森崎高文投手（経営④）、岐阜工業高校出身）、首位打者に杉島隆文（健康②、市立岐阜商業高校出身）、ベストナインには、會田浩樹一塁手（経営④、尚志高校出身）、

杉島選手（指名打者）が選ばれました。東海秋季選手権で優勝し、明治神宮大会への出場権をかけて争った「第7回愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦」では、初戦の1回戦で愛知工業大学に1―5で敗れ、悲願の明治神宮大会出場は持ち越されました。

心を豊かにするハンドベルの良さを知ってもらおうと、県内外で学外演奏を繰り広げているハンドベルクワイア。クリスマスを迎えた昨年12月には、教会や高齢者施設をはじめ、コンサートなどに出演しました。23日には、岐阜市内で開かれた「にぎわいコンサート」に出演し、美しい音色を披露。「あわてんぼうのサンタクロース」などを披露し、訪れた約100人の観客を魅了しました。また、24日、25日には、同市のサラマンカホールで行われた「パイプオルガンとハンドベルのクリスマス」では、海の見える街などを演奏し、来場者に感動を与えました。今後も地域でボランティア演奏を続けていくほか、3月の卒業式、4月の入学式など大学行事でも演奏を披露する予定です。

2011年度 学長賞 被表彰者一覧

【区分】1：成績・人格見識 2：研究 3：課外活動 4：ボランティア 5：その他

大 学		
氏名・学科・学年	区分	推薦事由
太田 利享（理学療法4年）	1	学業成績優秀、トレーナー部CASTを立ち上げ、他の学生を指導
茅谷 由希子（健康福祉2年）	3	東海学生バスケットボール1部リーグ優秀選手賞・得点王・リバウンド王受賞 U-22代表候補
女子バスケットボール部	3	全日本大学バスケットボール選手権出場&初勝利
宇佐見 紗也加（子ども4年）	3	全日本競歩輪島大会10Km 第7位 全日本競歩高島大会20Km 第8位他
大和 千秋（子ども3年）	3	日本インカレ10,000m 第3位 東海インカレ10,000m 優勝(2連覇)他
尾上 雄基（健康福祉3年）	3	全日本競歩輪島大会20Km 第3位 東海インカレ10,000m 優勝(3連覇)他
中原 舞（健康福祉1年）	3	全日本競歩輪島大会10Km 第8位 東海インカレ10,000m 第4位他

短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
河口 沙貴（幼児教育2年）	1	1年次は学生支援事業の代表発表、2年次では成績優秀で総合表現活動への積極的取組
加納 舞（社会福祉2年）	1	社会人学生として努力し、1年次、2年次ともGPAオール3.0、国試模試で全国25位、学内1位
竜川 千賀子（専攻科）	1	食育サークルや赤十字奉仕団の活動、人間福祉学会での発表

同窓会新評議員の紹介

本年度卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

大学同窓会		短期大学部同窓会	
健康福祉学科	田中 花歩	幼児教育学科	山下 紗季
健康福祉学科	浅井 愛美		河口 沙貴
子ども学科	加藤 啓太	社会福祉学科	岩瀬 真実
理学療法学科	梶 智大		國井 恵実
経営学科	倉 さおり	専攻科	伊藤 愛加

2011年度 同窓会長賞 被表彰者一覧

【区分】1：学生会活動 2：社会貢献 3：スポーツ・文化活動 4：その他

大 学		
氏名・学科・学年	区分	推薦事由
学生会役員会 高橋 ユウジ（健康福祉3年） 根尾 美友紀（健康福祉2年） 伊藤 瑞穂（健康福祉2年） 板津 卓弥（人間福祉1年） 山本 哲史（経営3年）	1	新学生会の会長をはじめとして役員を担い、学生会活動の活性化に貢献した。
大学祭実行委員会 森 香織（人間福祉3年） 宮永 恵里花（理学療法3年） 深尾 愛子（健康福祉2年）	1	委員会役員として積極的に活動し、大学祭等を盛んに導く
秋山 桜子（健康福祉4年） 傍島 紀乃（健康福祉4年） 浅井 梨沙（人間福祉4年） 松山 純子（健康福祉4年） 加藤 理奈（健康福祉4年）	2	ノートテイカーとして聴覚障害学生を支援
東村 琴恵 吉田 佳代 加藤 友紀子 長谷川 陽加（子ども3年）	2	東日本大震災の被災者へ積極的な支援活動
間宮 大貴（経営4年）	4	岐阜県リーグ連覇、秋季東海大会優勝に貢献
池原 秀成（健康福祉4年）	4	東海バスケットボール1部リーグ優秀選手賞受賞
河合 英匡（健康福祉3年）	4	軟式野球部主将として統率

短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
学生会役員会 桐谷 伸二 鈴木 裕加 木村 美香 兒玉 明日香（社会福祉2年）	1	新学生会の副会長をはじめとして役員を担い、学生会活動の活性化に貢献
ハンドベルクワイア	2	年間を通した様々な学内外演奏活動を展開
本多 愛（社会福祉2年）	2	ノートテイカーとして聴覚障害学生を支援

大学

進路決定率100% 進路満足度100%の巣立ち支援体制の確立

[illegible]

10

研究室から—1

リハビリテーション学部は常に理学療法分野をリードし、最先端の診断を取り入れながら臨床を続け、理学療法士を輩出しています。



リハビリテーション学部
理学療法学科

林 典雄 教授

Norio HAYASHI
国立療養所東名古屋病院付属リハビリテーション学院理学療法学科卒業。理学療法士。整形外科リハビリテーション学会代表理事。



運動器の疾患に関して、超音波を使ったエコー検査をいち早く導入し、常に理学療法分野をリード。最先端の診断を取り入れながら臨床を続けています。体に害のないエコー（超音波）を使った機能診断では、これまで筋肉やじん帯に触れることでしかわからなかった筋肉の動く様子を

あり、これからを担う若い世代にしっかりと伝えていきたいと思っています。

線で活躍するスポーツ選手の治療にも積極的に携わっています。

目の前の患者を治すことに専念しました。今でもその心は変わることはありません。第二の師匠である整形外科医からは、理論的かつ体系的に組み立てる研究を通して、第三者に伝えられる術を学びました。その根底にあるのは「患者と正面から向き合う心」です。

「りたい」という姿を常に持ち続けてほしいと思っています。私もまだまだ走り続けるので、しっかりとついて来てほしいと思います。

目で確認できるようになり、筋肉の炎症などが詳しくわかるようになりました。生きている人の関節をリアルタイムで見られるため、理学療法士は症状を的確に判断できるようになり、治療に大きく役立てることができま

時代とともに理学療法に求められる分野も広がり、痛みの原因を的確に見つけ、根本から治療することに期待が高まっています。例えば、土踏まずが高いために痛みが生じる「ハイアーチ」という現象があります。俊敏な動きと踏ん張りが求められるバレーボール選手にその症状は多いとい

理学療法士は、医師を中心に看護師や作業療法士らとともにチームを組む「コメディカル」の一員。その中で医師以外に唯一患者に治療できるのは理学療法士です。理論的に治る患者を、限りなく元通り回復させる知識と技術を常に求める姿勢を忘れてはいけません。また、理学療法士として現場で活躍する卒業生やこれから目指す学生には「やりがい」と「プライド」を感じて取り組んでほしいと思います。私は第一の師匠である整形外科医からは「患者を絶対治せ」と言われ、とにかく勉強して

現在は講義の傍ら、現役の理学療法士への講演などで全国各地に飛び回っていますが、大学の講義でも伝える内容は変わりません。学生にとってはややハイレベルな内容であっても、これから必ず覚えな

国家試験の取得に向けてチーム合格を目指します！

学生同士が専門分野を決めて、互いに指導します。



詳しくは入試広報課まで

研究室から—2

「気になる子ども」の指導にいち早く着目し、保育者と子ども、親子が向き合える関係づくりの研究にフォーカスします。



子ども学部
子ども学科

西垣 吉之 教授

Yoshiyuki NISHIGAKI
早稲田大学教育学部教育学科教育学専攻卒業。兵庫教育大学教育研究科幼児教育専修修了。幼稚園の職員、保護者向け研修などの講師を務める。



保育も子育ても理屈ではなく、その人の持つ『感性』を育てることが大切です。子どもに寄り添う感性を、保育者や学生にどう伝えていくか、研究者というよりも、実践と研究の橋渡し役です。

『今・ここ』を生きている子どもの存在をまるごと受け止める、ともに在ることではないか、と思

て、現在、大学で指導にあたっては、『保育を感じる』教育という根底が変わることはありません。子どもたちと関わる中で感じた世界を、言葉に置き換える力をつけてもらうのが私の役目。子どもの内面を見つめる観点を明確にし、学生自らが子どもと関わりを持つ時の根拠をしっかりと示せるように願

実感として学びます。また、実際に保育を組み立てる機会を通して、保育実践力を身につけていきます。短期大学部は、保育士になるなど、目標がはっきりしているため、将来に向かっ

さんあります。体験的に学べる場が大学教育で大切な視点。学生にはいつまでも子どもの味方でいてくださ

幼少時代は、両親が運営する保育園の中に自宅があり、園児とともに過ごしてきました。とにかく子どもと関わる時間が純粋に楽しかったです。しかし、大学院進学後、保育のあり方を理論に

保育園の担任、短期大学部幼児教育学科教授を経

保育者を感じながら、幼児理解、親理解を深め、保育のあり方や支援のあり方を

子どもを育つことに興味があることに気づき、はっとしました。そして、子どもに寄り添うとは、

子ども学部
魅力の3コース

子どもたちの先生になる！
「子ども教育コース」

パパママたちのお手伝い
「保育・子育て支援コース」

子どものこころに寄り添う
「発達支援コース」

詳しくは入試広報課まで

講演会

市民公開講座をはじめ、各種セミナーなど、各界で活躍する先生を講師に招いて、講義を行っています。

リハビリテーション学部3教授らが講演

リハビリテーション学部「市民公開講座」

「健やかに生きる」

リハビリテーション学部理学療法学科の開設4周年を記念した市民公開講座「健やかに生きる」を10月15日、JR岐阜駅アクティブGのネットワーク大学コンソーシアム岐阜で行いました。講演は、本学の奥山牧夫教授、林典雄教授、千鳥司浩准教授が最新の研究成果を踏まえた講義を行いました。奥山教授は「健やかに老いる」、林教授は「聞いて得する肩こりの話」、千鳥准教授は「転ばないコツを教えます」と題して講演。会場内からは健康維持や老化防止について質問がありました。



京都大学霊長類研究所所長 松沢哲郎 本学客員教授が講演

中部学院大学公開講座「比較認知発達論Ⅱ」

「人間とは何か」

「比較認知発達論Ⅱ」の公開講座を1月19日、各務原キャンパスで開催。京都大学霊長類研究所所長で本学客員教授の松沢哲郎先生が「人間とは何か」と題して講演。ヒト科が進化してきた過程を紹介しながら、「人間とは何かを知りたい場合は、アウトグループであるヒトではない動物を見るとヒトを理解できる」と話し、「人間とは想像する力、希望を持っている」と説明しました。また、最新の研究として、チンパンジーのおばあちゃんも子育てしている事例なども紹介しました。



シンガーソングライター 新沢としひこ 本学客員教授が講演

文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム

「こころはればれ」

幼児教育学科が文部科学省に採択された「大学教育推進プログラム」成果発表会の一環で、シンガーソングライターで本学客員教授の新沢としひこ氏のあそびスター実践講習会を2月11日、関市文化会館で開催しました。学生をはじめ、保育園や幼稚園、行政で子どもと関わる指導者ら約900名が参加。新沢さんのピアノやギターによる弾き語りや、参加者が一緒に歌によるあそびを行い、「さよならぼくたちのようちえん」や「世界中の子どもたちが」など、心に響く歌を満喫しました。



トピックス

各学部学科では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げているなど、積極的に活動しています。

合唱ミュージカルや演奏を披露 プロムナードコンサート 関市で初公演

子ども学科と幼児教育学科の学生らによる合唱や合奏、ミュージカルの舞台「プロムナードコンサート2011」を11月26日、関市文化会館で開催しました。各学科で開講している「総合表現活動」の一環。保育士、幼稚園や小学校の教諭などを目指す学生に表現力を身に付けるのが目的です。今回のテーマは「おとぎの国から 音楽おもちゃばこ」。第1部では、マリンバアンサンブルやパフォーマンスやハンドベル、合唱を披露しました。第2部では、合唱ミュージカル「くるみ割り人形〜チャイコフスキーのバレエ音楽から〜」を熱演。伸び伸びとした演技を披露しました。



「介護の日」学生が啓発活動 JR岐阜駅、柳ヶ瀬などでバラを贈る運動を展開

11月11日の「介護の日」に合わせて、人間福祉学部介護支援コース、短期大学部社会福祉学科・専攻科の学生や教職員らが啓発活動を行いました。介護をしている方に感謝の意を伝えようと、学生が主体となって介護者にバラの花を贈る運動を展開しています。学生ら約120人はJR岐阜駅や岐阜市の柳ヶ瀬わくわくステージなどでバラの花を贈るなど、介護の日をPR。マーサ21では折り紙でのバラの花づくりや介護相談、ワークショップなどを行い、啓発活動を繰り広げました。また、関キャンパスでは「介護の日」展を開催し、運動を盛り上げました。



学生赤十字奉仕団を結成 岐阜県内で初 社会貢献活動に取り組む

岐阜県内で初めての学生赤十字奉仕団となる「中部学院大学学生赤十字奉仕団」を昨年11月に結成しました。サークル活動の一環として活動を行い、人間福祉学部人間福祉学科の介護支援コース23名と短期大学部専攻科(福祉専攻)21名の計44名の学生が参加しています。



瀬戸山大雅さん 県文化・スポーツ功績賞受賞 全国大学対抗簿記大会 個人戦1級で優勝

昨年11月に行われた簿記のインカレ「2011年秋季全国大学対抗簿記大会」個人戦1級の部で優勝した「会計プロフェッショナルコース」の瀬戸山大雅さん(各務原シテカレッジ所属、2012年度経営学部に入学)が、今年度の岐阜県文化・スポーツ功績賞を受賞しました。



2012年度 年間行事予定	
入学式(関市文化会館)	4/4(水)
オリエンテーション	4/2(月)・5(木)・6(金)
前期授業開始(※)	4/9(月)
開学記念日(通常授業)	5/14(月)
社会福祉学科 新入生宿泊研修(白川村)	5/16(水)・17(木)
幼児教育学科 新入生宿泊研修(白川村)	5/22(火)・23(水)
スポーツ大会(関)	5/26(土)
後援会総会・保護者懇談会(関・各務原)	6/2(土)
前期定期試験(※)	7/30(月)・8/10(金)
後期授業開始日(※)	9/18(火)
ぎふ清流大会ボランテア実施期間	10/11(木)・16(火)
たのしみ祭 大学祭 ホームカミングデー(関)	10/27(土)
学びの森フェスティバル(各務原)	11/3(土)
中部手話スピーチコンテスト(各務原)	11/17(土)
プロムナードコンサート(関市文化会館)	11/24(土)
クリスマス礼拝・祝会(関)	12/20(木)
年内授業最終日	12/26(木)
年始授業開始日	1/7(月)
大学入試センター試験(関)	1/19(土)・20(日)
後期定期試験(※)	1/28(月)・2/15(金)
卒業認定発表	3/8(金)
進級認定発表	3/15(金)
卒業式 卒業式リハーサル	3/21(木)
卒業式 長良川国際会議場	3/22(金)

(※) 学科により異なる



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部
Chubu Gakuin University & College

[関 キ ャ ン パ ス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加惣田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程後期

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(介護支援コース/相談援助コース/福祉政策コース/福祉グローバルコース)
健康福祉学科(精神保健福祉コース/健康スポーツコース/ライフマネジメントコース) ◆リハビリテーション学部
理学療法学科 ◆子ども学部 子ども学科(子ども教育コース/保育・子育て支援コース/発達支援コース) ◆経営学部
経営学科(企業・事業継承者育成コース/金融スペシャリストコース/マーケティング・流通コース/公共マネジメント
コース/スポーツマネジメントコース) ◆通信教育学部/人間福祉学部 人間福祉学科

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障害児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(認知症
ケアコース/介護予防コース/地域生活支援コース) ◆専攻科(福祉専攻)

※コースは変更する場合あり